

## 執筆者紹介（執筆順）

南出 弘	横浜商科大学教授
名島 修三	専任講師
宮本英三郎	講師
大林多吉	教授
服部清道	教授
秋山義一	専任講師
竹中清之助	専任講師
木山英一	教授
宮城邦彦	助手
神名勉聡	教授

## 編集後記

前号の商大論集の新刊紹介欄に森泰吉教授の執筆をお願いしたところ、「死ぬということ」（中野好夫著）について文章を寄せられた。

ところが、その雑誌を発行して幾許もない本年の六月二十七日、先生は突然逝去された。

はからずも最後の文章となった訳である。

あとで御遺族からうかがったところによると、先生は常に健康状態を気遣われ、節制につとめられると同時に、亡くなられる直前には「死」ということばを屢々口にされていたという。

おそらく前記の書物もそのような御心境の中で選択されたものであろう。

きわめて短い文章ではあるが、その文章が活字として発表されるまでの過程を考えると改めて文章の重みということを感じざるをえない。

自ら悩み、考え、まとめあげ、そして出来上ったものを読み直しては新たな疑問に迷いを感じるといふことは、文章を書く誰もが経験することであろうが、その悩みが切実な生死の問題に連なる場合もあるということを知った時、編者の責任というものを感じさせられたのである。

森先生の御冥福をお祈りするとともに、より一層の努力を論集のために尽くしたいと思う。（大沢・染野）